

袋井西コミュニティセンター^{あや ぐも かん}彩雲館



大ホール



オープンスペース



大きな軒



令和元年9月から工事を進めていた袋井西コミュニティセンターが完成し、令和3年3月にグランドオープンをしました。旧東海道の宿場町の人々が行き来する風景を継承すべく、誰もがふらっと立ち寄れて、気軽にふれあい、様々な活動ができるよう、大きな軒下空間を持つ平屋建ての建物となっています。杉の集成材を使用した大きな軒を持つことで建物の強度やデザイン性を高め、さらには軒下という半屋外が、屋外から屋内までの空間を連動させ、多様な施設利用が可能となっています。



つちおとの表紙を飾る写真

◆テーマ・題材◆静岡県内の明治・大正・昭和期の建設工事関連写真

住所、氏名、電話番号、撮影年月日、撮影場所、写真の簡単な説明を記入したメモを必ず添えて、表紙裏面に記載の住所あてに郵送、あるいは協会までご持参ください。写真はつちおと掲載後に返却いたします。

※ご応募いただく際お預かりする個人情報、掲載させていただいた方への図書カードの送付のために利用させていただきます。

大募集!

掲載の方には
2,000円分の
図書カード
進呈!



FUKUROI BUILDER'S ASSOCIATION
(一社)袋井建設業協会



久保田 崇 掛川市新市長

4月の市長選で当選し、4月26日より公務に就いた久保田崇新市長。選挙期間中には災害に強いまちづくりや子育て・教育の充実などの政策を訴え、市民の支持を勝ち取りました。当協会では市長の就任に伴う抱負やまちづくりへの展望などについて伺うべく、久保田崇市長と鈴木和男会長、平野勝啓副会長、松下進一広報委員長らとの対談を6月18日に行いました。

市長ご就任おめでとつございます。市長職にかけの意気込みや市政への抱負についてお聞かせください。

「久保田崇市長(以下市長)」

ありがとうございます。私の政治活動の原点は2011年に発生した東日本大震災で、ボランティア活動をきっかけに岩手県陸前高田市の副市長職を務めたことを端緒としています。東北の人々の復興にかける強い思いに触れた4年間で、生まれ育った地元を愛するということを肌感覚で理解できた気がします。

この経験を経て自身に立ち返り、私が市長職に就き、生まれ育った掛川市に対して何ができるのか。それを改めて問いただすと、やはり掛川市に暮らす人々の命を守り、安心して生活できる環境を整えることではないか。その意味でも、自然災害による死者ゼロを目指すことなど、これまで以上に防災対策には力を入れていきたいと考えます。

今回は建設業の皆さんとの対談の機会をいただきました。行政に携わる我々ができるのは計画することまでで、それを実行に移すのはほとんどが建設業の皆さんです。建設業が無ければ、復興など1ミリも前に進まないというのは東北でも実感していたことです。平素から有事に備え、予防的活動にしっかりと取り組むことが重要であり、その意識を建設業の皆さんと共有してまいりたいと思います。

就任1年目となる2021年度の公共インフラ整備など、建設関連の動きについて教えてください。

「市長」

沿岸部の防潮堤と海岸防災林の整備事業については、「掛川潮騒の杜」整備に本年度も5億円超の事業費を充てています。全長約9kmの防潮堤整備計画において現在の進捗率は45%。1期4年の末に進捗率8割達成を目指し、事業を促進してまいります。

市内の橋梁耐震補強対策等にも事業費5億6000万円超を充てており、年度計画に沿って進めていく事業となります。

その他建設関連では、大東給食センター改修事業に1億661万円、千羽地内保育園開設事業に1億7624万円、きょうこども園建設事業に1億8000万円、松ヶ岡整備事業に1億764万円などの事業を計画しています。

2020年度からの新型コロナウイルスの対策により、財政はどうしても逼迫化していると言わざるを得ません。その状況下においても、止める訳にはいかない事業があります。事業ごとにメリハリをつけつつ、進めていくこととなります。

鈴木会長以下協会側から、地域の建設業者が抱える課題や現況、市への期待についてお話しください。

「鈴木会長(以下会長)」

まさに市長が注力されているところの防潮堤整備事業においては、建設用土の確保が問題となるケースも多くあります。近隣市町では民間の造成事業と上手に連携して大量の建設用土を確保した事例もあり、行政が民間事業者の力を上手に活用していくことは、今後とても重要になる

のではないのでしょうか。我々事業者側にも行政と協力し合う姿勢が求められていくと感じています。

政府の国土強靭

化緊急対策が5カ年加速化対策として15兆円の積み増しとなり、土木工事の総発注量は今後増加していく見通しであります。そこにおいて建設業界が抱えているのは、人材確保の問題です。1資格者1現場専任という前提があり、事業者は技術者数を確保するため若手社員の確保や育成に取り組んでいます。採用・定着化ともに困難で、各社が頭を抱えているような状況です。現在、賃金待遇の改善や週休2日制といった労働環境改善のほか、ICT・DXの推進といった生産性向上等に向けた対応に、各事業者が先行投資や自助努力といった、それぞれの企業努力によって取り組んでいる段階です。工事を発注される行政の皆さんにも、このような業界の現状にご理解をいただき、契約金額の見直しや週休2日制工事の制度化など、現状の改善に向けた取り組みにご協力をいただければと考えます。

「平野副会長」 進学で掛川市を離れた若い世代の人たちが、再び掛川市に帰っ



対談の様子



鈴木 和男 袋井建設業協会会長

掛川市新市長 久保田 崇 氏

袋井建設業協会会長 鈴木 和男 氏

対談

てくる魅力がある街であってほしい、というのが私の考えです。現状では我々地元建設事業者は新卒者の採用がほとんどできていない。将来を担う若い世代の確保は事業者にとつて死活問題であり、人材確保の問題により5年後、10年後の会社像を描けない事業者が本当にたくさんあります。「地元に戻りたい」という希望を持ってきている若い人たちの情報がわかれば、我々は仕事を提供できる。地元を向けてくれる若い世代を増やすこと、彼ら彼女らの期待に応える環境を提供していくことが大切だと考えています。

「**松下広報委員長**」 市政に期待することは2点あります。1つは掛川市が中東遠の中心であることから、さまざまなものを繋ぎ合わせる街となっていくこと。新幹線駅や高速道路、近隣に富士山静岡空港や御前崎港など交通の便を活用しながら、広域連携的に街と街、人と人、仕事と仕事をつなぐような、より利便性の高い街を目指してほしいです。

もう1つは、建設業界に就職を希望する子どもたちを育てていくこと。袋井市の静岡理工科大学に、建築学科に続いて土木学科が誕生します。昨今自然災害の多発傾向に伴って、若い世代が土木の重要性を見直してくれているという話も聞きます。市内の掛川工業高校などにもこうした動きに追随してもらい、地元から建設業を目指す若者が育ってくるような施策が充実してくると大変ありがたいと思います。ぜひご検討ください。

「**市長**」 建設業の魅力を若い世代に適切に伝えていく必要がありますね。建設業が学生の就職活動において有力な選択肢の一つになっていくためには、よく知ってもらうこと、彼らの目や耳に建設業の実情や魅力に関する情報を届けていくための努力が必要なのだと感じます。

これは建設業に止まらない話だと思いますが、終身雇用制度や年功序列賃金など、経済成長を前提に「会社に長く貢献してくれば、将来大きな報酬を得られるよ」というルールに基づく賃金体系でもう成り立たない時代になっていますよね。キャリア形成に転職が織り込み済みの会社となった中で、賃金体系も現状に沿ったものでなければ、当然若い世代の共感を得られない、ということなのでしょう。逆に、こうした時代の変化を機敏に察知し、先陣を切つて体制を変革している企業を、若い世代の人はしっかりと見ている。若い世代の共感を呼ぶことができるのではないのでしょうか。

「**会長**」 女性が活躍する機会も増えてきました。当社でも事務専任だった女性社員に積算などの業務も任せられるように、しっかりと待遇も改善したこともあってとても意欲的にやってくれています。現場作業の内容や苦勞も理解してくれるようになり、業務全体がうまく回るようになってきた感があります。現場作業には厳しさもありますが、やりがいを感じてもらえるような体制づくりを急いでいるところです。

最後に、市長から地元建設業に期待されることを挙げていただけますか。

「**市長**」 建設業の皆さんにはインフラ整備をはじめ、防災面でも大切な役割を担っていただいています。平素からの事業活動をより多くの一般市民に知ってもらい、魅力や役割の重要性を理解してもらおうことが必要だと改めて認識しました。その理解が深まることで、地域の防災力強化にもつながるのではないかと、今日いろいろな話を聞いて感じました。

最近、防災においては対策も多様化し、流域治水など広域的な連携が求められる事象も増えてきました。行政と建設業の皆さんとの連携もより密にしたいと考えています。これからも市政への協力をお願いいたします。

「**会長**」 我々建設業者は行政と連携し、地域に災害があれば直ぐに出勤し復旧作業にあたるなど地域に貢献しています。今後も市長の東北での知見をご教示頂きながら、地域の防災力向上の一翼を担えればと考えています。今後の久保田市長の市政運営に期待しております。



右から会長、副会長、委員長

ステーション 建設STATION



袋井西コミュニティセンター彩雲館 あや ぐも かん



建物 (正面/夜間)



キッチンスタジオ



キッズコーナー



多目的室



輻射式冷暖房

袋井西コミュニティセンターは、老朽化への対応や新しい時代にふさわしい施設機能の充実が必要となったことから建て替えを行い、令和3年3月にグランドオープンを迎え、地域の皆様の交流や情報交換、地域活動の拠点として、利用されています。

施設は木のぬくもりを持つ軒下空間と縁側スペース、施設内外の一体的な空間が特徴となっています。開放性の高いオープンスペースやホール、会議室などを備えるとともに、指定緊急避難場所などとして約170人を収容できるほか、太陽光発電や蓄電池、非常用自家発電、災害時マンホールトイレなどの防災機能も充実しています。

工事概要

工事名称:	令和元年度(債)袋井西コミュニティセンター新築(建築)工事	(令和元年9月27日～令和3年3月10日)
	令和元年度(債)袋井西コミュニティセンター新築(電気)工事	(令和元年12月3日～令和2年10月20日)
	令和元年度(債)袋井西コミュニティセンター新築(機械)工事	(令和元年12月3日～令和2年10月20日)
名称:	袋井市袋井西コミュニティセンター	
愛称:	彩雲館(あやぐもかん)	
所在地:	袋井市川井582番地	
敷地面積:	3,913.79㎡	屋内床面積: 1,040.06㎡
構造:	鉄骨造(一部木造)	階数: 地上1階(地下無し)
諸室:	オープンスペース、大ホール、多目的室、会議室、キッチンスタジオ、キッズコーナー、たたみコーナーなど	
設計監理者:	(株)竹下一級建築士事務所	
施工者:	建築工事/(株)永井組	機械設備工事/(株)渥美 電気設備工事/(株)小澤電業所



菊川市鎮座

大頭龍神社

中東遠の 神社を訪れる 10

第十回は、菊川市加茂の高台に鎮座する大頭龍神社を紹介いたします。古くから疫病鎮護、水難除けの神様として崇敬されており、境内には江戸時代中期に建てられた青銅の大鳥居や、推定樹齢三百年以上の巨樹、スダジイなどがあります。

御由緒

当社は古くより「疫病鎮護」「水難除け」「厄除け」「縁結び」の神様として遠州地方はもとより駿河三河地方の多くの人々より『だいとうりゅうさま』、『ごんげんさま』の名で親しまれ、信仰されており、正親町天皇天正二年（1574年）高天神城落城の時、武田勝頼率いる軍勢が当社及び大龍院を残らず焼き払ってしまった為残念ながらそれ以前の詳しい記録が残っていませんが、口伝によりますと、桓武天皇延暦十一年（792年）勧請と伝えられ、山を神と仰ぎ初期のころは、ご社殿は無く後々になつて本殿拜殿が建立されました。



青銅の大鳥居

御祭神と御神徳

- ・大物主神（おおものぬしのかみ）
五穀豊穡、産業、方除（ほうよけ）、疫病除け、縁結びなど国や人々の平安をもたらす国造りの神様。
- ・大山咋神（おおやまぐいのかみ）
農耕（治水）を司る神とされており、山王権現と尊称され全国で信仰されています。
- ・出雲龍神（いずものりゅうじん）
勧請年代不詳なれど古より火難、水難の守護神と仰ぎ、各家庭の開運、繁栄をお導きいただく『縁結びの神』『福を授ける神』とされています。



御祭神

大頭龍神社例祭

大頭龍神社では毎年八月第四日曜日に例祭を斎行しております。
一年に一度氏子の繁栄と五穀豊穡、疫病鎮護、水難鎮護を祈願し、午後二時より斎行しています。



お簀祭

往古、この辺りに疫病が流行した頃、当社の大前で疫病鎮護のお篝火を焚いた処、その疫病がおさまったことから始まったとされ、現在まで伝えられています。

お山登り神事

このお山登りの神事は磐座の前で神官と氏子によつて執り行われる初期から続く伝統の祭祀です。
昭和30年代までは丑の刻（夜中の二時頃）に行われていましたが、現在では例祭日の夜九時より斎行されています。

お神楽

ご神体山に向かい厄除、病氣除、家内安全等を祈願する稚児奉仕による神楽です。約二百年ほど前より始まり現在まで続いています。疫病が流行した折、当社にて祈願したところこれが治まり、人々が踊り喜んだ様を表しているとの説もあります。

奉射会

古くよりこの遠州地方では弓道が盛んであり、人々が広く弓の技術の向上に尽力されてきました。
当社でも享和元年（1801年）白松真道宮司の呼びかけにより代官の黒田太郎左衛門と川田寿格氏が請け負う形で御祭的が始まり現在まで続いています。



協会活動報告

令和3年3月～6月

総会

5/20(木)

令和3年度(一社)袋井建設業協会定時総会

●令和2年度決算の承認

●役員を選任

●報告事項

・令和2年度事業報告

・令和3年度事業計画及び収支予算

**令和3年度袋井地区建設業協同組合
通常総会**

●令和2年度決算の承認

●役員を選任

●報告事項

・令和2年度事業報告

・令和3年度事業計画及び収支予算

**令和3年度 建災防静岡県支部袋井分会
通常総会**

●令和2年度決算の承認

●報告事項

・令和2年度事業報告

・令和3年度事業計画及び収支予算



理事会

3/22(月)第11回理事会(令和2年度)

●令和3年度袋井建設業協会事業計画及び収支予算の承認

●令和3年度袋井地区建設業協同組合事業計画及び収支予算の承認

●令和3年度建設業労働災害静岡県支部袋井分会事業計画及び収支予算の承認

●協会及び組合の補欠役員を選出

●令和3年度新安全委員の選出・承認

●令和3年度静岡県優秀施工者知事表彰候補者の推薦

●令和3年度定時総会等の開催計画

●令和2年度袋井建設業協会、袋井地区建設業協同組合及び建設業労働災害静岡県支部袋井分会の決算見込み

●協会活動報告(正副会長職務執行状況)

●袋井土木事務所との災害支援協定の締結「改訂」

●令和3年度「安全祈願祭」の開催 ほか

4/27(火)第1回理事会

●袋井協定会時総会等の対応及び進行の確認決定

●袋井協定会時総会等の上程議案及び報告事項の確認決定

●会員研修事業の実施

●令和3年度全建等表彰者の決定報告

●御前崎港管理事務所との災害支援協定の締結「改訂」

●委員長報告 ほか

6/14(月)第2回理事会

●令和3年度事業計画の進捗及び見直し等

●Zoomライセンスの取得 ほか

4/21(水)令和2年度決算関係監査

●袋井建設業協会、袋井地区建設業協同組合、建災防静岡県支部袋井分会

●令和2年度決算関係監査

委員会等報告

■正副会長会議

3/22(月)第13回正副会長会議(令和2年度第11回理事会上程議案・報告事項事前確認 ほか)

4/9(金)第1回正副会長会議

・県発注機関及び磐田労働基準への挨拶・情報交換

4/23(金)第2回正副会長会議(兼総務委員会)

・第1回理事会上程議案・報告事項事前確認 ほか

5/12(水)第3回正副会長会議

・総会進行要領の確認 ほか

6/14(月)第3回正副会長会議

・第2回理事会上程議案・報告事項事前確認 ほか

■総務委員会

4/23(金)第1回総務委員会兼正副会長会議

・袋井協定会時総会等の対応及び進行の確認決定

・袋井協定会時総会等の上程議案及び報告事項の確認決定

・会員研修事業の実施

・令和3年度全建等表彰者の決定報告

・御前崎港管理事務所との災害支援協定の締結「改訂」

5/27(木)第12回献血活動

・献血者44名



安全委員会

4/9(金)安全祈願祭(小國神社)【出席者17名】



5/13(木)第1回安全委員会

・令和3年度事業計画

・体制及び役割分担確認等

■広報委員会

3/3(水)第11回広報委員会(令和2年度)

・会報「つちおと」第151号の校正及び令和3年度発行計画等

3/17(水)第12回広報委員会(令和2年度)

・会報「つちおと」第151号の最終校正及び第152号以降の発行計画等

4/1(木)

・会報「つちおと」第151号の発行

4/20(火)第1回広報委員会

・会報「つちおと」第152号の編集計画

5/13(木)第2回広報委員会

・会報「つちおと」第152号の編集・市長対談計画

6/18(金)新市長との対談

・掛川市長 久保田 崇 氏

・対談者：鈴木会長、平野副会長、松下広報委員長

6/23(水)第3回広報委員会

・会報「つちおと」第152号の原稿確認

・市長対談結果報告

■技術委員会 土木部会

4/27(火)

・第1回土木部会、第1回技士会代議員会合同会議

・令和2年度事業報告、令和3年度事業計画

・令和2年度事業報告、令和3年度事業計画

・令和2年度事業報告、令和3年度事業計画

・令和2年度事業報告、令和3年度事業計画

・令和2年度事業報告、令和3年度事業計画

・令和2年度事業報告、令和3年度事業計画

・令和2年度事業報告、令和3年度事業計画

・令和2年度事業報告、令和3年度事業計画

4/27 火 技術者講習会

【受講者：70名(会場49名、Web21名)】
技術者のための安全関連書類の効果的活用方法
三次元測量とVR活用方法 ほか

【技術委員会】T対策部会

3/29(月)第10回 T対策部会
令和3年度 事業計画

5/17(月)第1回 T対策部会
令和3年度 T講習会計画
当面の課題

6/18(金)第1回 T講習会 【参加者15名】
電子申請のための提出書類作成編集
Word講座

6/18(金)第2回 T対策部会
第2回、第3回 T講習会開催計画

【環境・災害対策委員会】

4/7(水)

家畜伝染病防疫対応打合せ会
(県西部家畜保健衛生所)

4/26(月)第1回 環境・災害対策委員会
令和3年度 事業計画

静岡県令和3年度家畜伝染病防疫対策事業等
IP通信機の導入・整備

6/25(金)第2回 環境・災害対策委員会

【各種研修会・講習会】

4/23(金)

刈払機取扱い作業者に対する安全衛生教育

5/11(火)・12(水) 【受講者18名】

職長・安全衛生責任者教育 【受講者24名】

5/26(火)

職長・安全衛生責任者能力向上教育【受講者18名】

5/28(金)

現場管理者統括管理講習 【受講者12名】

6/1(火)

足場組立て等の業務に係る特別教育 【受講者34名】

6/4(金)

建設業等における熱中症予防指導員・管理者研修 【受講者20名】

6/9(水)・10(木)

型枠支保工の組立て等作業主任者技能講習

6/15(火)・17(木) 【受講者19名】

地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習

6/23(水)・24(木) 【受講者27名】

足場組立て等の作業主任者技能講習

6/29(火) 【受講者20名】

足場組立て等作業主任者能力向上教育



6/15~17 地山土止め技能講習



4/23 草刈機安全衛生教育



6/29 足場組立能力向上教育



6/1 足場組立特別教育

【その他の行事】

3/11(木)

監理技術者講習会

【受講者32名】

5/14(金)

監理技術者講習会

【受講者31名】

6/22(火)

JCMDOVセミナー

【受講者26名】

表彰

(一社)全国建設業協会会長表彰 及び
(二社)静岡県建設業協会会長表彰

次の会社・個人が受賞されました。(敬称略)

【一社】全国建設業協会会長表彰

5条

職務に精励し、勤務成績が良好

池田博康 (株)アキヤマ(磐田市)

小木由美子 (株)アキヤマ(磐田市)

杉浦敏彦 (株)川島組 (掛川市)

松下和彦 (株)若杉組 (掛川市)

【二社】静岡県建設業協会会長表彰

2条4号

地区会員の代表者として業界の健全な
発展のために尽力し、その功績が顕著

鈴木 守 (株)マルブンプロテクト(袋井市)

西島正浩 (株)西島土木 (御前崎市)

5条

職務に精励し、勤務成績が良好

松林泰光 (株)若杉組 (掛川市)

山田和仁 (株)若杉組 (掛川市)

石田隆広 (株)小原組 (菊川市)

宮崎守人 大沼建設(株)(森 町)

柴田 修 (株)アキヤマ(磐田市)

◆第37回静岡県建設業協会建設もの創り大賞

建築部門 優秀賞(A部門)

石川建設(株) (磐田市)

◆令和3年度全国中小建設業協会会長表彰

会員団体等の役員として尽力し、中小
建設業発展に顕著な功績

倉見正一 倉見建設(株) (森 町)

フレイクタイム
ちよっとした小話

by M.S

その10 イルカとクジラは同じ仲間!?



実はイルカもクジラなんです!どちらも、上あごに歯を持つ「クジラ類」の仲間。じゃあどうやってクジラと区別するの?これにはハッキリした決まりはありませんが、約4m以下をイルカ、それ以上の大きさをクジラと呼んでいます。ちなみに小さくてもクジラと呼ぶ種類もあるそうなので、わりとあいまいです。

その11 1円玉の製造費は1円以上!

1円硬貨の原材料はアルミニウムですが、材料費だけで1枚約0.7円。製造費用や人件費などが加わり、1円玉を作るのに約1.6~2円の費用がかかります。1円とはいえ、決してムダにはできません。ちなみに紙幣の製造費は千円札が約142円、五千円札が約202円、一万円札は約217円です。(いずれも2015年現在)



その12 猫は舌ではなく鼻で温度を感じる

熱いものを食べたり飲んだりできない人を「猫舌」と言いますが、実際のところ猫が温度を判別しているのは舌ではなく鼻なんです。鼻から吸い込んだ空気の温度の0.5度の違いも判別できるほど、とても優れた機能が備わっているんですよ。





安全の道しるべ



安全指導者によるパトロール結果報告

これい〜ねっ！



作業における職務が区別されている。

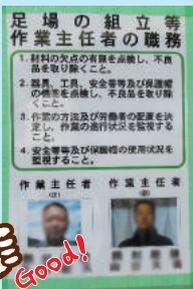


写真を活用し、分かりやすく第三者に工事内容が周知されている。

すぐ直そう！



バケット作業時のフックの未格納
安衛則第160条



作業主任者の表示に顔写真が添付されわかりやく掲示されている。



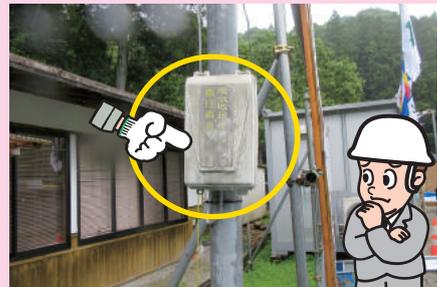
作業員個々の安全に対する意識づけがされている。



不適格なワイヤーロープの使用禁止
安衛則第174条/安衛則第217条



隣接する公園利用者も使用できるように快適なトイレが設置されている。



分電盤の未施錠と取扱責任者の未表示
安衛則第329条

令和3年度 安全関係の講習会

建災防袋井分会では、静岡県支部主催の安全衛生教育を袋井建設業会館を会場に開催しました。

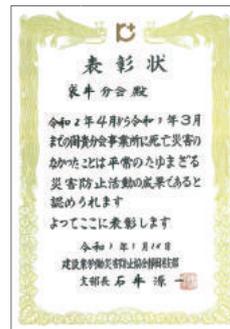
無災害表彰 10年連続受賞



職長・安全衛生責任者教育 24名参加



建設業における熱中症予防指導員・管理者研修 20名参加



建災防袋井分会は、平成23年度より現在に至るまで死亡災害が無いため建災防静岡県支部長より10年連続で無災害表彰を頂きました。